

けいじばん

○技術研修受講希望者募集；ちば里山センター主催の技術研修「安全作業Ⅲ、伐木造材作業の実際と手入れ」の豊英島開催が決定しました。（3頁18年度技術指導研修日程の朱書参照）。日程は11月19日（日曜日）千年の森定例活動日です。講師は千葉県林業サービスセンター。昨年度の当会受講者の経験では安全な伐木作業の基本と実技の習得に非常に有益と好評です。また豊英島開催のため広葉樹主体の豊英島の森の実態に即した安全な伐木作業の基本の習得にも有益です。当会としては、受講者個人の知識・技量の向上もありますが、今後豊英島での作業を安全に行えるように、会としての能力向上を第一義に考えています。この研修会は、昨年から進めてきた「千年の森」作業安全対策の重要なステップであり、また今年度活動計画の最重要イベントと位置づけています。出来るだけ多くの会員が受講され、千年の森・作業安全マニュアルの見直し、安全な森林整備作業の基礎づくりに参加いただくよう、期待しています。本研修ではチェーンソーが使用されますが、チェーンソーのない方も受講可能です。上記の趣旨に鑑み、参加費（保険料、資料代等）は会で支弁します。この研修の意義と豊英島開催の趣旨をご理解のうえ、多くの会員の受講を切望します。受講希望者は8月25日（金）迄に上記メールアドレス又は043-432-1450 真鍋宛（留守の場合は名前と「11/19 技術研修受講希望」とメッセージ）。11月の予定不明の方はもし受講の希望があれば一旦希望を出し、10月に出欠確認時にキャンセル可能です。研修当日の対応等は追ってお知らせします。

○平成18年度ちば里山センター「里山整備のための技術指導研修日程」を3頁に添付します。又4頁に森林研究センター公開講座の案内ちらしを添付します。小平次長から“今年の公開講座は、「森の不思議を探る拠点づくり」と言うことで、自然観察のための森づくりに、自然を体感する森づくりに挑戦したいと考えています。公開講座への参加をお願いします。お仲間の方にも宣伝をよろしくお願いします。”とのメッセージを頂いています。

前記11月19日の研修に限り、受講希望者を事務局で集約の上、一括申込み、参加費も会で支弁します。その他の研修はちば里山センターに直接申込み、参加費は各自お支払い下さい。

○次回活動日のご案内；9月17日（日曜日）9：40 森林館駐車場集合、主な活動メニューは伐採木の選木、木工班案内板作製、きのこ班、植物班、栽培きのこ班、シカ班などの班活動。気象条件が良く時間の余裕があれば巨木林などの相対照度測定を行います。

かつどうのきろく

8月4日（金曜日）植物班臨時活動日 参加会員18名と吉原先生。
○吉原先生指導の植物観察会；やっとう梅雨が明け真夏日が続くようになったばかりのこの日、久しぶりの吉原節を楽しみに婦唱夫随（？）の夫婦会員も数多く参加した。2002年リスト記載ながら再確認ができない植物に夏開花のものが多くことから、新発見の期待を胸に島に入った。残念ながら期待はかなわなかったが、類似植物の相違点を中心に吉原先生の軽妙かつ含蓄のある指導を受け、参加者一同改めて体系的知識や理解の重要性を認識した一日だった。

次頁高橋会員の観察記と別表メモをご覧ください。



外界の暑さ忘れて

8月5日（土曜日）きのこ班臨時活動日 参加会員4名

○きのこ調査；8月に入り晴天が続く、きのこの発生はあまり期待できないのではとの予想に反し、例年9月に見られるタマゴタケ、アカヤマドリが発生していました。今年は少し季節が進んでいるのかも。他にもテングタケ科ではカブラテングタケの成菌、シロオニタケ、イグチ科ではベニイグチ、セイタカイグチ、ニガイグチモドキ、ニセアシベニイグチ、ベニタケ科ではチチタケ、キシメジ科ではツエタケが見られ期待以上の収穫でした。

千年の森、植物観察会に参加して

H18-8-8 高橋洋子

8月4日は植物班の観察日。吉原先生を中心に千年の森の植生調査を行いました。千年の森には、思いのほか多くの種類がありました。その中で、類似植物の相違点についても丁寧な指導を戴きました。類似植物の見分けが出来る、楽しみが更に広がります。教わった主な植物の相違点は、下の表の通りです。

これらの観察の中で、先生が特に強調されていたことは「五感をフルに使って感じる事の大切さ」でした。「形や色を表裏ともによく見る」「木肌、葉の表裏にも触ってみる」「匂いを嗅ぐ」「口に入れて味わう」「音も聞く」など、ただ眺めるだけでなく、シッカリと心を通わせ、丁寧に観ることの大切さを教わりました。

森の中では、特別にその草花や樹木の近くでなくとも、その香りや涼を戴くことが多くあります。この5・6月にかけて夫の「トビの観察」に何度か付き合い、千年の森の中央広場で、半日近くも一人で本を読んでいた。深緑の木漏れ日の中で、風がわたり、野鳥がさえずり、木々や草花の匂いに包まれながら、静かな気持ちのいい幸せな時間を戴きました。たった1メートル四方の小さなブラインドの中で、何時間もトビの動きを覗き続けている夫のことなど忘れ、私は千年の森の中で「私の森の時間」を十分に味わうことが出来ました。これも「五感」を使えばこそその楽しみと、改めて感じました。

千年の森には、実に沢山の種の植物があるようです。それらに一つでも多く出会えることを楽しみに、これからも観察会に参加させて戴きたいと思っています。今回も、本当に学びの多い一日でした。ありがとうございました。

別表 吉原先生指導、主な類似植物の相違点 (8/4千年の森観察会)

植物名	相違点	備考
<ul style="list-style-type: none"> ・ノイバラ ・テリハノイバラ 	<ul style="list-style-type: none"> 托葉にギザギザ あり 托葉にギザギザ なし 	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> 三行脈が 大きな特徴 </div>
<ul style="list-style-type: none"> ・ウグイスカグラ ・ヤマウグイスカグラ ・ミヤマウグイスカグラ ・ガマズミ 	<ul style="list-style-type: none"> 全体無毛 葉の縁に毛がある 葉の全体に毛がある 無毛 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ウルシ ・ヤマウルシ ・ツタウルシ ・ヌルデ 	<ul style="list-style-type: none"> 奇数羽状複葉・・・・・・かぶれやすい 奇数羽状複葉・・・・・・かぶれやすい 葉が3出複葉で全縁・・・・かぶれやすい 翼がある羽状複葉 	
<ul style="list-style-type: none"> ・カヤ ・イヌガヤ ・モミ 	<ul style="list-style-type: none"> 葉の先が尖って痛い 葉の先が尖るが触っても痛くない 葉の先が二裂して鋭く尖り痛い 	
<ul style="list-style-type: none"> ・サカキ ・ヒサカキ 	<ul style="list-style-type: none"> 鋸歯がない 鋸歯がある 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ニッケイ ・ヤブニッケイ 	<ul style="list-style-type: none"> 2本の側脈は葉の先端近くまで達する 2本の側脈は葉の先端近くまで達せず、肩のあたりで消失する 葉は枝にほぼ均等に付く 	
<ul style="list-style-type: none"> ・シロダモ 	<ul style="list-style-type: none"> 葉の裏が白い、葉は枝先に集まって付く 	
<ul style="list-style-type: none"> ・アオツツラフジ ・サルトリイバラ 	<ul style="list-style-type: none"> つるを伸ばし周りに広がる 枝にある鉤状のトゲと巻きヒゲで他の植物に絡みつく 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ヤブムラサキシキブ ・ムラサキシキブ 	<ul style="list-style-type: none"> 葉に毛がある 葉に毛がない 	
香り味に特徴のある樹木	<ul style="list-style-type: none"> ・クロモジ・ニッケイ・・・・いい香り ・スノキ・・・・・・スッパイ 	

